

分担金・拠出金の名称	アジア欧州財団（ASEF）拠出金（任意拠出金）		評価	C
拠出先の国際機関名	アジア欧州財団（ASEF）			
国際機関の概要	・アジア・欧州両地域間の相互理解促進のため、1996年3月、第1回ASEM首脳会合で設立方針を決定。1997年2月設立。 ・事務局はシンガポールに所在し、参加国数は51ヶ国＋2機関。 ・知的交流、文化交流、人物交流及び広報の4分野において事業を実施。			
拠出により我が国が期待する成果目標及び活動指標			達成状況	
1.（1）成果目標:アジア欧州間の相互理解を行う知的交流や文化交流などのASEF諸活動を通じて、アジア欧州交流における、我が国の主導的役割、ASEFにおける影響力・発言力を維持するため、主要国が応分の負担を行う中、我が国としても、相応の拠出を行うことが必要。義務的拠出金に加えて任意拠出金を拠出することで、ASEFにおける主要国としての我が国の貢献のビジビリティ及びプレゼンスを相対的に高める。 活動指標:ASEF活動(知的交流、文化交流、人物交流及び広報)を通じた我が国重要外交施策への貢献。			毎年、任意拠出金を拠出し、ASEFから提案されたASEFプロジェクトから1件を選択し、イヤマーク事業として実施している。主に、ASEM首脳会合や外相会合と並行して実施される事業を優先的にイヤマークし、我が国の貢献が外部に見えやすいよう努めることで、国際社会において我が国の影響力を示し、親日派を醸成するもの。	
（2）成果目標:ASEF理事会等の意思決定における我が国のプレゼンスの強化を通じ、アジア欧州の知的コミュニティでの影響力を高めることで、ひいては、ASEM(アジア欧州会合)のマルチの場における、各国からの理解・支持を獲得し、我が国の発言力・影響力を確保する。 また、ASEFプロジェクトを通じ、ASEM参加国国民レベルにまで我が国貢献のビジビリティを浸透させるもの。 活動指標:任意拠出金を継続的に拠出することで、ASEFにおける我が国の発言力・影響力が高まり、我が国がASEFの意思決定に積極的に関与するために必要となる委員(幹部)の地位の継続的確保につなげる。			これまで、我が国理事は、議長、副議長、執行委員または財務監査委員のポストを獲得してきた。直近では、我が国は、2013年2月から執行委員のポストを占めており、相対的に大きい発言力を有するところ、ASEF活動において、我が国の主義・主張が色濃く反映されているもの。	
（3）成果目標:任意拠出金の拠出を通じて、ASEM参加国国民を対象に行うASEFプロジェクトを通じた個人レベルまでの我が国貢献の周知を行うもの。 活動指標:ASEF事業実施後の参加者からの好意的反響。			2014年9月に実施された第11回ASEM財務大臣会合にあわせて開催された「アジア欧州経済フォーラム」に我が国任意拠出金が充当されたことで、一般参加者も含めて、広く国際社会に対する我が国の成長戦略の実施を含む経済政策推進のアピールにつながった。さらには、同財務大臣会合の成果が盛り込まれた同年10月の第10回ASEM首脳会合の議長声明に間接的に貢献することにもなり、国際場裡における我が国の影響力を示す良い結果となった。	
（4）成果目標:邦人職員数 活動指標:邦人職員の維持(1名)。			2015年6月時点:2.6%(邦人職員1名／職員39名)	
2. PDCAサイクルの確保			ASEFにおいては、以下のとおりPDCAを確保。 ① Plan:理事会で事務局が次年度予算案を策定。理事会にて予算案の承認。② Do:我が国の任意拠出金支払。ASEFによる予算案執行。アジア欧州協力室によるASEF事業のモニタリング。③ Check:活動報告書による事業の成果を評価。④ Act:理事会、執行委員会及び事務局への随時連絡を通じて運営における要改善事項もしくは内容説明を申入れ。	
担当課・室名	欧州局アジア欧州協力室			